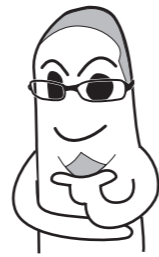


# はにわ通信

No.182 平成22(2010)年5月号



もじと文化財で楽しんで  
もろつにほごうしたもんかね

## 【「ふるさと」の歴史をさぐる ～学校教育との連携を目指して～】

はにわ館では、4月17日から6月27日まで前期企画展として『教えます!! まつさかの歴史～縄文・弥生時代編～』を開催しています。

小学校で初めて歴史を学ぶのは、6年生の社会科です。教科書の導入部分となる『地域の歴史をさぐる』では、みなさんが博物館を訪れる体験の中で、学習の方法を知り、地域の遺跡や文化財に関心をもってもらえるように、という期待が込められています。これは小学生だけでなく、広く一般のみなさんにもあてはまります。

宝塚古墳や、はにわ館の展示説明をしていると、今まで知らなかった遺跡や文化財との出会いに感動するみなさんの姿に出会います。そういった姿をみると、文化財を通じて、地域の一員として自分たちの「ふるさと」を愛する心をもってもらうために、より一層わかりやすく、楽しい展示を目指さなければと、気持ちも熱くなります。

そこで、今回は地域に根ざした博物館として、みなさんが意欲的に歴史を学びきっかけになればと、展示を企画しました。具体的には、現在の松阪市域の生活・文化発展の基礎となった、縄文時代・弥生時代の人びとの生活の一端を、市内にある遺跡から見つかった本物の資料と模型を使い、わかりやすく紹介しています。

現在の教科書でふれられていない縄文・弥生時代にスポットを当て、当時の人びとの暮らしの一端を知ることによって、少しでもふるさとの歴史に興味をもっていただければ幸いです。

(担当)



天白遺跡(嬉野釜生田町)を見学する子どもたち(2009年11月)

## 【初夏のひかりと風のなかで】

涼しさと 風のたよりを たづぬれば 繁みになびく 野辺のさゆり葉

「式子内親王集 夏歌」

涼しさを運んでくれた風が吹いてきた方向をたどると、野原のしげみに揺れる小百合に出逢ったという歌です。「さゆり葉」とありますが、「夏歌」の分類から考えれば、花はもう咲いており「風の便り」はその香りも運んできたのではないのでしょうか。

この和歌の「さゆり」は大きくてはなやかなヤマユリ(山百合)よりも、かぼそくてかわいいササユリ(笹百合)かヒメユリ(姫百合)の方がぴったりしそうな感じがします。どちらも中部より西の地域に生えるユリで、古来の和歌に詠まれたユリは、ほとんどがこのどちらかでないかとする説もあるくらいです。

初夏のころとなりました。野や山にさわやかなひかりや風がいっぱいにあふれます。松阪市嬉野釜生田町の天白遺跡(国史跡)では、さえぎるものもない広々とした田園風景の中に、地元で島田富士とよばれる美しい姿の山をながめることができます。また、足元に目をやると縄文時代の人々が祈りの場にしたりと考えられる、大小の石を丸い形にすきまなく並べたものなど、さまざまな形で並べられたたくさんの配石遺構(レプリカ)を見ることができます。

初夏の心地よいひかりの中、さわやかな風にふかれて一度、縄文のロマンにひたってみられてはいかがでしょうか。

(所長)



式子内親王(「しきしないしんのう」ともいう。)鎌倉時代初期の歌人

ユリの花

### 【文化財センター はにわ館・ギャラリー 5月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ・企画展「おしえます!! まつさかの歴史～縄文・弥生時代編～」～6/27(日)

【ギャラリー】 入場無料

第1ギャラリー ・廣岡節子布花教室作品展『エコ布花展』5/4(火)～9(日)

\*4日は12時から、9日は16時まで

・松坂公民館絵画グループ『第34回カンパス展』5/11(火)～16(日)

\*11日は13時から、16日は16時まで

・渡辺恭平展『～うちはじむ～』5/21(金)～23(日) \*23日は16時まで

第2ギャラリー ・木村多美子教室作品展『第8回花ひろば』5/12(水)～16(日) \*16日は15時まで

・第31回日本画グループ『彩』展 5/18(火)～23(日) \*18日は12時から、23日は16時まで

第1～3ギャラリー ・『第8回いけばな青雅流展』5/29(土)～30(日) \*30日は16時まで

開館時間: 9時から17時(入館は16時30分まで)



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>